

訪れる観光客に笑顔を

白石工業の生徒が顔出しパネルを製作

4月28日、片倉小十郎重長、真田信繁、阿梅姫のキャラクターパネルの完成除幕式を白石城天守閣で行いました。このパネルは、真田家ゆかりの地として観光に力を注ぐ本市が、白石工業高等学校に依頼し、同校建築部9人が製作したもの。式で風間市長は「白石城を訪れる多くの観光客にこのパネルを使ってたくさん写真を撮ってもらいたいです」とあいさつ。生徒の代表者へ感謝状を贈呈しました。生徒は「細かな色の配色が難しく苦労しました。みんなに喜んで使ってほしいです」と充実感のある笑顔で話していました。



▲キャラクターパネルの前で記念撮影する同校建築部の皆さん

材木岩でこいのぼりの吹き流し

第13回春の検断屋敷まつり

4月29日、「第13回春の検断屋敷まつり」が材木岩公園で開催されました。市内外から多くの人々が来場したこのまつりは、大鷹沢子ども太鼓の迫力ある演奏でスタート。材木岩公園内に設置されたステージでカラオケが披露されたり、検断屋敷前の路上でだるま落とし競技や紙ヒコーキ飛ばし大会などが行われたりしました。また、春の検断屋敷まつりといえば、全国各地から寄贈された約800匹のこいのぼりの吹き流しでも有名。訪れた人たちは、材木岩をバックに元気に泳ぐこいのぼりと一緒に記念撮影をするなど、春の小原を楽しんでいました。



1_こいのぼりの吹き流し 2_だるま落としに参加する親子

新緑の蔵王で心も体もリフレッシュ！

しろいし健康ウォーク 歩こう！ 南蔵王野営場

5月15日、「しろいし健康ウォーク」を南蔵王野営場で開催しました。この催しは、蔵王の自然とともに、ウォーキングを健康づくりの手段として楽しんでもらうと実施。参加者は、さわやかに晴れ渡った空の下、南蔵王野営場の服部和憲場長からコース内の見どころや動植物の説明を受けながら、約5kmの散策路をウォーキングしました。ウォーキング後は、市保健師による脳や筋力を鍛える体操や健康寿命を延ばすための講話といった「健康教室」も開催。参加者は、心も体もリフレッシュしながら、健康への意識を高めていました。



▲青空の下、蔵王の山々を眺めながらウォーキングする参加者たち

地域の人に感謝を込めて

白石中学校全校ボランティア活動

5月13日、白石中学校で全校ボランティア活動の一環として、ごみ拾いが行われました。この日は全校生徒343人が参加。各学年に分かれ、市内の公園や駅前周辺などを清掃しました。ボランティア委員の「地域の人に感謝の気持ちを込めて活動しましょう」とのあいさつで同校を出発。清掃中は、まちの人と明るくあいさつを交わしながら、たばこの吸い殻や空き缶などを拾い集めました。参加した生徒は「まちはきれいなのが当たり前。年に一度ではなくもっと取り組みたいです」と汗を流しながら話してくれました。



▲公園内のごみを拾う白石中学校の生徒

100歳おめでとうございます

成田富貴子さんに松竹梅敬老祝金

4月22日、翌日に100歳を迎える成田富貴子さんを佐々木徹副市長が訪ね、松竹梅敬老祝金と祝詞を贈り長寿を祝いました。富貴子さんは栗原市（旧瀬峰町）のご出身。得意な和裁や編み物で3人の子どもを育て、現在は孫が7人、ひ孫が10人います。90歳まで手紙を書いたり新聞を毎日読んだりしていました。週刊誌にも目を通し、芸能事情通でした。長生きの秘訣は「笑ったり怒ったり感情を素直に出し、ストレスを溜めないことですかね」とご家族。この日も富貴子さんは「まだまだ元気だよ。大丈夫！」と笑顔で話していました。



▲富貴子さんの長寿を祝うご家族や施設長と佐々木副市長

ケアハウスやまぶぎに感謝を込めて

やまぶぎの里コンサート

4月23日、ファゴット奏者の岡崎耕治さんとピアニストの岡崎悦子さん、声楽の大島優美子さんがケアハウスやまぶぎを訪れ、「やまぶぎの里コンサート」が開催されました。この催しは、悦子さんの母が同施設に入所していたことがきっかけで行われ、今回が2年ぶり5回目。この日は、「シチリアーノ」や「革命」など18曲を披露し、最後には、悦子さんが入所者と一緒に作詞・作曲した曲「やまぶぎの歌」を、鑑賞者約80人と大合唱！

耕治さんは「『音楽の力』は人に夢や希望を与えると言われています」と話し、心を込めて演奏していました。



▲感謝の気持ちを込めて演奏する悦子さん（ピアノ）たち

元気な演舞で笑顔満載！

YOSAKOI in 白石城

4月24日、「YOSAKOI in 白石城」が白石城本丸広場で行われました。この催しは、よさこいの迫力や楽しさを多くの人に感じてもらうと開催され、白石城で行われるのは今回で3回目。この日は、県内外から15チーム約200人が参加し、チームごとの踊りや参加者全員で踊る「総踊り」などを勇壮に披露。片倉小十郎と真田幸村を題材にしたオリジナル曲を演舞したチームもありました。吉田清幸白石市文化体育振興財団理事長は「白石の春の風物詩になってもらいたいです」と期待を寄せていました。



▲参加者全員の「総踊り」で幕を開けた「YOSAKOI in 白石城」

伝統芸能の継承と発展のために

第39回城の会

5月5日、毎年恒例の「城の会」が白石城本丸広場で行われました。この催しは白石の伝統芸能の伝承とさらなる発展を目指して開催されているもので、今年で39回目。観世流子ども能楽教室や生田流箏曲朋美会、白石皐風会、白石高等学校箏曲部、白石居合道会、宮城岳風会、平曲をさく会が出演。能や仕舞、日本舞踊などを披露しました。また、白石城野点研究会と白石高等学校茶道部の野点も開催。訪れた人たちは、青空と新緑、白石城を背景に披露された伝統芸能を鑑賞し、楽しいひとときを過ごしていました。



▲真剣で居合を披露する白石居合道会の皆さん